

MIZBERG OSAKA CITY

みずのみやこ・おおさか しゅうゆうマップ

# 水の都・大阪周遊map

# 水の都・大阪の魅力

大阪は、長い歴史の中で、川と産業・人・暮らしが結びついて発展してきました。地域の約1割を占める河川面積は、他の都市と比べても際立っており、大阪のまちづくりに十分活用しうる重要な資源です。

「水の都・大阪」の再生は、こうした資源を十分活用しながら、新たに景観づくりや賑わいづくり、環境づくりに努め、世界的にも稀な都心部を囲む河川（道頓堀川、東横堀川、堂島川、土佐堀川、木津川）を「水の回廊」として整備し、再び水を活かした新たな都市の魅力を創出し、大阪都心部の再生にもつなげていこうという取り組みです。

## 水の都・大阪エリアマップ

凡例

- 船着き場
- 川の駅
- 公園・緑地
- D-1 水辺のスポット・観光拠点

D 道頓堀川、H 東横堀川、K 木津川  
N 中之島（堂島川・土佐堀川）  
O そのほかの川

map

0m 200m 500m

K-1 大阪市中央卸売市場本場

大阪市中央卸売市場本場は、全国の卸売市場の中でも最大の床面積を誇り、野菜や魚など年間約80万トンの食材が商われています。

K-2 昭和橋

67度の斜めになったアーチ橋で、大変複雑な構造となっています。

●中之島の空撮

N-1 大阪国際会議場

平成12年オープン。国際交流施設です。メインホールや特別会議室などを備え、高層レストランやカフェなどもあり、レクリエーションとしても利用できます。

N-2 大阪市立科学館

湯川秀樹博士が研究した大阪大学理学部の跡地に、「宇宙とエネルギー」をテーマに開設された科学館です。曲面の建物は惑星の軌道をイメージしたものです。

N-3 国立国際美術館

新しい美術館は内部が吹き抜ける完全地下型の構造で、エントランスには現代美術の発展・成長をイメージしたオブジェが設けられています。

O-1 大阪アメニティパーク

大川（旧淀川）

大川が分れる中之島一帯は、かつて大阪を代表する風景となっていました。中之島を挟んで、周辺には多くの文化財や史跡があります。

## ■大川・寝屋川の水辺に近い見所

O-1 大阪アメニティパーク

オフィス、ホテル、住宅などが建てられ、大きな開空地が確保されています。

O-2 泉布観

「泉市」とは貨幣の意味。明治4年、造幣局の広接所として洋館が建てられました。

O-3 ユースアートギャラリー

重みのある石造りの玄関は、造幣局の正面玄関を模したものです。

O-4 毛馬桜之宮公園

大川の両岸に広がる公園で、桜の名所としても親しまれています。

O-5 大阪城

360度パノラマの展望台からは、約107haにおよぶ大阪城公園が望めます。

O-6 大阪ビジネスパーク

近代的美しさと緑、川が一体となった美しい風景を創り出しています。

## インフォメーション

大阪市

- 大阪市建設局道路河川部河川課  
TEL : 06 (6615) 6833 <http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/>
- 大阪市経済戦略局観光部観光課水辺魅力担当  
TEL : 06 (6210) 9315 <http://www.city.osaka.lg.jp/keizaisennyaku/>

Osaka Metro・シティバス案内コール

TEL : 06 (6582) 1400 <https://subway.osakametro.co.jp/contact.php>

大阪府都市整備部河川室

TEL : 06 (6941) 0351 (代) [http://www.pref.osaka.lg.jp/s\\_kasen](http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen)

大阪観光局

<https://osaka-info.jp/>

水都大阪コンソーシアム

<http://www.suito-osaka.jp/>

発行●大阪市建設局●2025年

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟 6階

★以下は広告スペースです。広告掲載のお問い合わせは、発行元へ

再生紙を使用しています

## 水交通

■巡る水上交通

クルーズ船などの観光船や市民の足である渡船などからは、川筋を通してのよいある水の都・大阪の風景を見ることができます。

■川・まち・ひとの交流拠点「川の駅」

船着場や川沿いのレストラン等に、休憩・交流・案内ができる拠点として「川の駅」を設置し、水都大阪の観光情報を提供しています。  
(大阪「川の駅」設置推進チーム)

■舞台となる川

大阪では、川を舞台とした行事が数多く行われ、四季の風物詩として市民に親しまれています。歌舞伎の船乗り込みや天神祭など、川と一体となって賑わいます。

■自然環境

川は、都市における貴重なアメニティ空間です。大抵の川筋には、いくつもの緑あふれる遊歩道や公園があり、市民の憩いの場所として親しまれています。

## 自然環境

■舞台となる川

大阪では、川を舞台とした行事が数多く行われ、四季の風物詩として市民に親しまれています。歌舞伎の船乗り込みや天神祭など、川と一体となって賑わいます。

■自然環境

川は、都市における貴重なアメニティ空間です。大抵の川筋には、いくつもの緑あふれる遊歩道や公園があり、市民の憩いの場所として親しまれています。

K-3 千代崎橋

明治時代は船を通すために引込み式の可動橋で「そろばん橋」と呼ばれました。現在の橋は、昭和2年完成。

K-4 大阪ドームシティ

大阪ドームシティは、ドームのほかに飲食店やアミューズメント施設が集積する、家族で楽しめるスポットです。

D-1 道頓堀川水門

平成13年3月に完成した水門で、東横堀川水門と対になって機能しています。水門の詳細内容は裏面をご覧ください。

D-2 湊町リバープレイス

湊町リバープレイスは、なんばHatchを核とした複合施設で、その新なるフォルムから水辺のランドマークとして親しまれています。

D-3 浮庭橋

湊町リバープレイスと南港は、一般公募による、平成20年完成。

D-4 戎橋

1日に10万人以上の歩行者が利用し、大阪ミナミの賑わいを象徴する橋です。平成19年完成。

D-5 とんぼりリバーウォーク

活気あふれる繁華街「ミナミ」を横断する道頓堀川沿いの遊歩道です。夜間には、沿川のネオンが川面を影とり、美しい夜景をつくり出します。

D-6 国立文楽劇場

国立文楽劇場は、文楽（人形浄瑠璃）を中心に邦楽や舞踊、舞楽、大鼓、浪曲、上方歌舞伎といった伝統芸能を上演する劇場です。

H-1 高麗橋

江戸時代に交通の要所など重要な地点に架けられ、幕府が直接管理する橋を公儀橋と呼んでいました。高麗橋は公儀橋の中でも特に重要視されていました。

H-2 東横堀川水門

平成13年3月に完成した水門で、道頓堀川水門と対になって機能しています。水門の詳細内容は裏面をご覧ください。

H-3 β本町橋

令和3年8月にオープンした水辺の賑わい施設です。SUP等の水上アクティビティを体験できるほか、様々なイベントを開催しています。

H-4 大阪産業創造館

大阪産業創造館は、大阪市経済局の中心・ベンチャー企業支援拠点として、平成13年1月に開業しました。

H-5 本町橋

現在の橋としては、大阪市内最古の橋で、豊臣秀吉が大阪城築城に際して、東横堀川を外堀として開削した時に架けられたと考えられています。

H-6 上大和橋周辺

上大和橋は、道頓堀川と東横堀川の境界となる橋です。直角に曲がることで変わる風景は、乗船時の見所でもあります。

## ■道頓堀川[延長約2.7キロメートル]

道頓堀川は、元和元年（1615）に完成した堀川です。開削当時の周辺は、歌舞伎の中座などの芝居小屋が集積し、劇場街として栄えていました。

道頓堀川については、裏面に詳細を掲載しています。

## ■大川（旧淀川）[延長約4.3キロメートル]

## ■堂島川（旧淀川）[延長約3.3キロメートル]

## ■土佐堀川 [延長約3.0キロメートル]

大川・堂島川・土佐堀川は、四季折々の自然や毛馬桜之宮公園をはじめとする緑に恵まれており、水と緑が一体となったるよい豊かな風景を見ることができます。堂島川と土佐堀川に挟まれた中之島は、江戸時代から続く経済の中心地で、多くの史跡や文化財、景観に配慮した建築物などの資源があります。

## ■木津川[延長約8.6キロメートル]

木津川は、土佐堀川から分かれて南に流れ、大阪湾に注いでいます。大阪ドームシティ付近では、水の都・大阪として魅力ある水辺の文化を創造するため、幅の広い堤防を整備して治水の安全性を高めるとともに、川と街が一体となった親水性の高い河川空間づくりが行われています。

## ■東横堀川[延長約2.2キロメートル]

土佐堀川から分岐する東横堀川は、大坂城の築城に際して、天正13年（1585）に豊臣秀吉によってその外濠として掘られた河川です。道頓堀川につながる東横堀川は、天神祭のどんこ船や歌舞伎の船乗り込みのルートとなっています。